

別記様式(第5条関係)

令和 8年 4月 6 日

南国市議会議長

西本 良平 様

議員名 西内 俊二

令和7年度政務活動費の収支報告について

南国市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙のとおり
令和7年度政務活動費に係る収支報告書を提出します。

令和7年度政務活動費収支報告書

議員名 西内 俊二

1 収 入

政務活動費 120,000 円

2 支 出

(単位 円)

科 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	122,777	行政視察経費
研 修 費		
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
合 計	122,777	

3 残 額 0円

(注) ・備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

・旅費の額は、南国市議会議員の議員報酬等に関する条例（平成20年南国市条例第21号）の規定に準じ算定する。

第1号様式

令和7年度 政務活動費 出納簿

議員名 西内 俊二

(四)

[illegible]

※項目…	1. 調査研究費	2. 研修費	3. 広報費	4. 広聴費	5. 要請・陳情活動費
	6. 会議費	7. 資料作成費	8. 資料購入費		

第2号様式

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 西内 俊二

整理 番号	1	項目	①調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 7年 8月4日(月)～ 8月 6日(水)				
相手方・ 調査先等	行政視察「ウェルカムチケット制度について」(茨城県龍ヶ崎市) 「牛久グリーンファームの農業振興、地域活性化」(茨城県牛久市) 「アドベンチャープレイ事業」(埼玉県川口市)				
場 所	龍ヶ崎市役所、牛久市役所、前川プレイリーダーハウス				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感 等を記入)	●行程(8/4) 高知龍馬空港＝羽田空港＝龍ヶ崎ブラザホテル泊 (8/5) 龍ヶ崎ブラザホテル＝龍ヶ崎市役所＝牛久市役所＝東横イン池袋西口 (8/6) 東横イン池袋西口＝前川プレイリーダーハウス＝羽田空港＝高知龍馬空港 ●面談者：龍ヶ崎市役所 総合政策部 まちの魅力創造課 人口問題対策室長 岡野恵之、課長 石崎清浩、課長補佐 脇島朋子 牛久市役所 環境経済部 環境政策課 新エネルギー対策室 室長 北澤浩代、課長 後藤勇雄、農業政策課 課長補佐 島田修一 川口市役所 子ども部 青少年対策室 室長 小山正治、室長補佐 金田孝之、主事 飯ヶ谷大地 ●調査内容等 茨城県龍ヶ崎市の移住・定住促進施策であるウェルカムチケット事業について視察を行い、人口減少対策や地域資源を活用したまちづくりの取り組みについて説明を受け、意見交換を行った。同市では人口問題対策室を中心に、移住・定住、空き家対策、地域資源活用を組織横断的に進めており、総合的な人口対策を推進している点特徴的であった。また、転入者向けのウェルカムチケットを通じて公共施設や地域店舗を利用してもらい、地域の魅力を体感してもらう仕組みが構築されていた。 本視察を通じ、移住者の満足度向上や関係人口の創出を意識した施策の重要性を認識し、本市の人口減少対策や地域活性化施策の取組に活かしていきたい。 次に茨城県牛久市の取り組みについて視察し、耕作放棄地の再生や新規就農者の育成、地産地消の推進など地域農業の維持に向けた事業内容の説明を受けた。また、廃食油を活用したBDF燃料や木質ペレットなどのバイオマス事業を通じ、地域循環型エネルギーの取り組みについて学んだ。人材不足や資材高騰などの課題も認識するとともに、地域資源を活かした農業振興の重要性を感じた。本市においても、担い手育成や耕作放棄地対策など持続可能な農業の仕組みづくりに活かしていきたい。 埼玉県川口市のアドベンチャープレイ事業について視察し、子どもの創造性や協調性を育む遊び場づくりの取組や、常設拠点と出張型を組み合わせた運営体制について説明を受けた。一方で、プレイリーダーの高齢化や人材確保などの課題も示され、継続的な人材育成と地域参加の重要性を認識した。子どもが主体的に遊び、地域の大人が関わる環境づくりは重要であり、本市においても地域と連携した子どもの遊び場づくりの参考にしていきたい。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	龍馬空港 ～羽田空港	飛行機		49,805	
	8/4 羽田空港 ～龍ヶ崎市	京急本線、常磐線	330+990=1,320	3,550	
	8/5 牛久駅 ～池袋駅	常磐線、山手線	990		
	8/6 池袋駅 ～羽田空港	埼京線、武蔵野線、山手線、東京モノレール	230+320+690=1,240		
	宿泊費	8/4 宿泊代 8,800+夕食代 1,200=10,000 8/5 宿泊代 10,185+夕食代 1,200=11,385		21,385	
	日 当	2,000×3		6,000	
	その他				
	合 計			80,740	
備 考					

※活動内容等について、スペースが足りないときは、別途報告書を添付してください。

政 務 活 動 記 録 簿

議員名 西内 俊二

整理 番号	2	項目	① 調査研究費 2. 研修費 3. 広報費 4. 広聴費 5. 要請・陳情活動費 6. 会議費		
年 月 日	令和 7年11月11日(火)～11月12日(水)				
相手方・ 調査先等	行政視察「食のまちづくり条例、食育推進事業の取組」(福井県小浜市) 「ミライプロジェクト、市民との意見交換会について」(兵庫県丹波市)				
場 所	御食国若狭おばま食文化館、丹波市役所				
活動内容 等(目的、 内容、結 果、所感 等)を記入)	●行程(11/11) 高知龍馬空港＝伊丹空港＝御食国若狭おばま食文化館＝ルートイン京都舞鶴-西舞鶴駅-泊 (11/12) ルートイン京都舞鶴＝丹波市役所＝道の駅おばあちゃんの里丹波＝伊丹空港＝高知龍馬空港 ●面談者：小浜市役所 経営企画部 御食国ブランド戦略課 中田典子 丹波市議会 議長 谷水雄一、議会運営委員長 西本嘉宏、議員 家田優樹 ●調査内容等 福井県小浜市における「食のまちづくり」の取り組みについて、中田典子氏より研修を受け、食文化を基盤に経済・健康・福祉・環境など地域課題の解決を目指す施策について学んだ。同市は「御食国」の歴史や鯖街道の文化を背景に、2000年から食を活かしたまちづくりを推進し、2001年には日本初の食のまちづくり条例を制定している。 また拠点施設である御食国若狭おばま食文化館を中心に、園児対象の料理体験「キッズキッチン」や地場産食材を活用した学校給食など、子どもの非認知能力や郷土理解を育む食育事業が展開されていた。 さらに企業向け体験型研修「おばまジャーニー」などを通じ、食文化を活かした交流人口の拡大にも取り組んでいる。市民グループの参画により行政と市民が連携して長年事業を継続している点は、持続可能な地域づくりの好例であると感じた。本研修を通じ、食育を核とした地域づくりの重要性を再認識し、本市においても食育や地産地消の取組を活かしたまちづくりの推進に活かしていきたい。この視察を踏まえて一般質問にて提案するようにしている。 兵庫県丹波市議会において、先進的な取り組みである未来プロジェクトおよび市民との意見交換会について説明を受け、若者や市民の声を議会活動に反映させる仕組みについて研修を行った。 未来プロジェクトでは高校生や大学生、議員が地域課題について議論し、議場で政策提案を行うなど主権者教育と若者参画を促進する取り組みが進められていた。 また、市民との意見交換会はワークショップ形式で開催され、地域課題について市民と議員が対話し、意見を政策提言へつなげる仕組みが整えられている。一方で参加者の高齢化や若者・現役世代の参加促進、議論の進行方法などの課題も共有された。議会が主体的に市民や若者と対話する取り組みは、地域課題の把握や政策形成において重要であると感じた。本市においても若者との対話の場づくりや市民参加型の意見交換の充実を図り、議会活動の活性化につなげていきたい。大学生がサポートしており、本市でも取り入れるべきである。				
活 動 に 要 し た 経 費	行き先	利用交通機関	積算	金額(円)	
	龍馬空港 ～伊丹空港	飛行機		22,200	
	11/11 中国豊中 ～舞鶴西 11/12 舞鶴西 ～中国池田	高速道路代	6,420÷7	917	
	宿泊費	宿泊代 9,200+夕食代 1,200		10,400	
	日 当	2,000×2		4,000	
	レンタカー代	24,640÷7		3,520	
	その他	視察料 7,000÷7		1,000	
	合	計		42,037	
	備 考				